

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協会	代表者名	眞柄 泰利
担当者部署	山形支部	連絡先電話番号	0235-22-6376
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	997-0022 山形県鶴岡市切添町12番40号カトウビル2階		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	鶴岡市	連絡先部署	商工観光部商工課
担当者氏名		連絡先電話番号	0235252111
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	オリンピックイヤーにおける日本の立ち位置、東京一極集中から地方へという流れが現状はどうか、デジタルを使うということはどういうことなのかを解りやすく解説して頂いた。何が起きようとしているのか、それに対してどのような心構えと行動が必要なのかのがしっかりと参加者に届いたと思われる。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月20日	15時00分	17時30分	10	140
3-2. 派遣場所	会場名	まちづくりスタジオ 鶴岡Dada		最寄駅	鶴岡駅
	所在地	山形県鶴岡市本町一丁目7-45			
	最寄駅からの交通手段	タクシー利用			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	一般、企業等	29人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	・どのような事業活動をしていくか、という具体的なものが出てないのが課題。但し、オリンピックに向けてのインバウンド対策を軸に踏み出せるのではないかと思案中。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・参加者のほとんどがそれぞれに事業をしている方々なので(金融機関なども含む)異業種参入・連携も視野に入れた新たなビジネスを一つ生み出すこと。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・SNSを通じてのグループを策定し、今後の取り組みや課題などについての情報交換の場を作るとよい。ただし、それにはリーダー的存在も必要。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・「鶴岡インバウンド&シェアリング」というグループを早速つくり意見交換を開始しはじめた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・今後の具体的な行動計画等は次回に持ち越し。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 知りたい情報(シェアリングエコノミーとは何か、DXとは何かなど)を全て整理することが出来た、という意見が多い。鶴岡でDXを推進する活動のヒントは?という問いに対して、他のベンチャー企業やスタートアップ企業と連携しての空き家対策、受け入れる下地作りは大事なのでSNSでの情報発信が必須など	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

